年　月　日

新人研修

＜ 講 師 ： 松原 美里＞

合同会社　ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ・

保育コミュニケーション協会　一般社団法人ラブアバ　代表

保育園・児童養護施設の体験を経て、子どもを支える大人のサポートの必要性を感じ、コーチングを学ぶ。米国認定コーアクティブコーチ資格取得。All About「育児の基礎知識」元ガイド。現在は参加者の声から創るプログラムにて、コーチング講座・研修講師として保育士向け新人継続支援研修・中堅育成研修・保護者支援研修・マネンジメント研修・リーダーシップ研修・子育て支援研修・監修等を行う。

新人研修

1. アイスブレイク・手遊び

＜やまごやいっけん　アンパンマンＶｅｒ．＞

パン工場がありました
窓から見ていたアンパンマン
かわいいチーズがわんわんわん
こちらへにげてきた
たすけてたすけてアンパンマン
バイキンマンがこわいんです
さあさあはやくおはいんなさい
もうだいじょうぶだよー
アーンパンチ！

＜大きくなったらなんになる＞

大きくなったらなんになる
大きくなったらなんになる
１の指で何になる　チクッと注射のお医者さん
２の指で何になる　髪の毛切ります　とこやさん
３の指で何になる　クリーム混ぜます ケーキやさん
４の指で何になる　みんなを守るよ　けいさつかん
５の指で何になる　どすこいどすこい お相撲さん

＜リンゴコロコロ＞

りんごころころ　りんごころころ
みかんかんかん　みかんかんかん
ピーマンピーピー　ピーマンピーピー
かぼちゃぼちゃぼちゃかぼちゃぼちゃぼちゃ

＜あんまんにくまん＞

あんまんにくまん　あんまんにくまん
ちゅうかまん　ちゅうかまん
ちまきにももまん　ちまきにももまん
豚まんたべたいな　豚まんたべたいな

＜宇宙人＞

レーザー光線あびながら　UFO のってやってきた
ちきゅうのみなさん　こんにちは
呪文を唱えりゃあなたもわたしも　　宇宙人

2.「保育士になる」～夢の扉を開けた、その後につづく階段

理想と現実の狭間の中で・・・

・なかなか思うようにいかない、子どもとのかかわり
・保護者支援の奥深さ
・「動ける」「気が付く」「感じる」保育の視点
・チームワーク
～子ども・保護者・先輩・同期・・・
意思の疎通・連携を組むには？
～保育士がステップアップしていくには、階段がある。

● **新　　人　の視点**

- 子どもと向き合う
- 信頼関係を築く
- 指導を身に着ける
- 記録の書き方を身に着ける
- 保護者とのかかわり方を体得していく
- 教わったことをモノにしていく

～日常の中で試行錯誤しながら、身に着けていく～

● **中　堅　の視点**

- 保育に見通しがついてくる
- 「こんなことやってみたい！」アイディアが湧く
- 思い描いた保育を形にすべく、 チャレンジが楽しい
- プライベートに余裕が出てくる。習い事なども充実！
- 理想の保育と現状のギャップに悩むことも･･･

「楽しみながら間を埋めていくことができるか？」 が成長の分かれ目！

～研修の機会などを通じて視野を広げ、保育に彩りを！

● **ベ テ ラ ン　の視点**

- ストックが増え、保育の幅が広がる
- 自分のカラーができる
- 保育に安定感が生まれる
- 子どもとの一体感を楽しめる
- 一年一年を重ねていく充実感を感じる
- 後輩を育てる喜び
- より良い園にしていく

～他園と情報交換をしながら、良い仕組みを現場に流す～

新人研修

●今の状態・感じていること・今日の最後に目指す状態

＜自己紹介タイム＞

1．呼ばれたい名前

2．今の気持ち

3．終わるときに目指す状態

【ワーク】

＊ペーシング

無意識に行っている行動を相手に合わせていくことで、
相手は自分に近いと感じて安心する。
信頼関係によって心を開き相手の存在・言葉を受け入れやすくなる。
呼吸・動作（身振り手振り）・
言葉・声の大きさ・話をするスピード
声の高さ・低さ・表情・場・感情

～今日の研修・子ども・保護者・保育者間でも
意識的に行い、信頼関係の土壌を深めていきましょう～

＜やってみた感想・日常に生かせそうなこと＞

3. 子どもへのかかわり方

●子どもは何をしているでしょう？

＊自分で感じたこと

＊メモ

＜事前アンケートより＞

Q．安全面に配慮しながらかかわるには？

Q．ぐずった時、泣いた時　どうしたら？

Q．どんなふうに話せばいい？

Q．指導をするときはどうすれば？

新人研修

子どもとのかかわりかたのポイント

・まずは、信頼関係　～試し行動の上に、確かな関係性。根気強く！

・受容　～笑顔・まなざし・見守り・ふれあい・言葉掛け

・五感でコミュニケーション　～視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚で共感

・言葉で伝える　～年齢に応じて、理解できる言葉で

・一緒に楽しむ　～子どもの心に寄り添いながら、思いをふくらませる

・安全管理の視点　～どんなことが起こり得るか？頭の片隅に置き見守る

・変化・成長に敏感であること　～喜びを共有することが信頼関係につながる

子どもを「見る」視点

・個と集団

・どこまでできるのか？全部やってあげた方がいいか？

・手伝いが必要な子は？

・できるのを応援するかかわりとは？

～先輩の声掛け・動きの理由を探り、吸収していく

・遊びの場面

–意欲に寄り添う

–新たな遊びの選択肢を提案する

–何かに集中し始めたら、そっと見守る

・ケンカの場面

–前後関係・背景の理解・本人たちの心の整理

–身に着けてほしいこと・成長を踏まえて、理解・納得できるように

●全体に声を掛けていくとき

・声の出し方

聞こえる声・聞き取りやすい発音で

・表現の仕方

豊かな表情・身振り手振り（ジェスチャー）

・時間の感覚を先に知らせて、見通し・安心感を育む

～だから、〇〇しようね。

子どもとの信頼関係を育むためにも・・・

自分から心を開き、知ってもらう、受け入れ合う関係をつくる

●ワーク

【　遊びの場面　】

子ども役：片付けの時間だが、まだ遊んでいたい

保育者役のゴール：～片付け終え、次の活動へ導く

＜役作りの相談＞

＜ワークからの気付き＞

【　送りの場面　】

子ども役：お母さんと別れるのが寂しくて、涙が止まらない

保育者役：　～気持ちが切り替わり、保育に楽しみを見つけて行く

＜役作りの相談＞

＜ワークからの気付き＞

４．保護者とのコミュニケーション

親は子どもにとっての“存在基盤”　EX:児童養護の例/保育園の例

保護者と良い関係を築いていくためのコツは、日々の信頼の積み重ね。

お互いのスタンスを理解し、より良いパートナーシップの架け橋を掛けていく。

●保護者の背景

- 親という立場・役割を学んでいく
- 手探りで保護者としてのコミュニケーションを獲得していく
- 子育てと仕事の板挟み、支援者が必要

新人研修

＜スタンス＞

一緒に子育てをするパートナー

＜日常の中で伝えること＞

・子どもの体調
・変化・子ども同士のやりとり
・保育の中での成長

＜保護者が受け取りやすい伝え方＞

・保護者への敬意を伝える表現で
・子どもの様子がイメージできるように言葉を補いながら
・エピソードは、共通の“好きな人”のお話をするような気持ちで

Q．電話でのやり取りについて

【ケース１】　保護者からの電話

保護者：電話を掛ける
職員Ａ：お電話ありがとうございます、〇〇（園）＿＿＿＿でございます。
保護者：すみません、さくら組のまつもとゆうじの母です。
職員Ａ：いつもお世話になっております。いかがされましたか？
保護者：今日のお迎えなんですが、私が時間が遅くなりそうなので、
お父さんになります。
職員Ａ：そうでしたか。お母様が遅くなるため、お父様のお迎えに
変更されるんですね。承知いたしました。
保護者：はい。どうぞよろしくお願いします。
職員Ａ：了解いたしました。お迎え、お待ちしております。
保護者：電話を切る
職員Ａ：電話が切れたのを確認してから、ゆっくり受話器を置く

職員Ａより、担任へ：〇〇先生、ちょっとよろしいですか？
担任：はい。なんでしょうか。
職員Ａ：さくら組のまつもとゆうじくんのお母様よりお電話が
あり、お時間が遅くなるとのことで
お迎えがお父様に変更となりました。
担任：ご連絡どうもありがとうございました。承知いたしました。

【ケース 2】　保護者（連携者）への電話

新人研修

保育者：電話を掛ける
職場Ａ：はい、丸山商事でございます。
保育者：お世話になっております、すみれ保育園の〇〇と申します。
　　総務部のささきみのりさまはいらっしゃいますでしょうか？
職場Ａ：あ、はい…総務の佐々木ですね。少々お待ちください。
保育者：恐れ入ります。
保護者：はい、佐々木です。
保育者：いつもお世話になっております、すみれ保育園の〇〇です。
　　ゆうたの体調の件でお電話させていただきました。
保護者：えっと・・・ゆうたがどうかしましたか?
保育者：はい、ゆうたくんなのですが実は午睡明けに検温をしたところ、
　　38 度 4 分でつらそうな表情をしております。
　　お忙しいかと思うのですが、もしもご都合がつきましたら、早めの
　　お迎えをお願いできればと、お電話をさせていただきました。
保護者：そうでしたか・・・ちょっと相談をして、また折り返します。
保育者：（電話が切れたのを確認してから、ゆっくり受話器を置く）
保育者より、事務所の職員（職場 A と兼任）へ：
　　佐々木雄太君のお母さまから園に折り返しのお電話が来ることになって
　　います。もしかかってきたら、〇〇（自分の名前）まで、お願いいたしま
　　す。もし立て込んでいるようであれば、聞いておいていただけますか。
事務所の職員（職場 A と兼任）：はい。分かりました。

Q．伝えにくいことを伝えるには・・・？

●黄金ルール

（　　）＋（　　）＋　おうかがい

＜考えてみましょう＞

あなたは 1 歳の子子どもの担当です。
園庭遊びの際、好奇心旺盛に探索をする中で
柵の隙間に入れた手を抜くときに怪我をしてしまいました。
保護者にどう伝えますか？

５．保育士間の連携～「動ける」ために

●保育における、それぞれの役割

・リーダー
・サブリーダー
・フォロー

●チームワークが上手く機能するいくために

・アイコンタクトで意思の疎通を図る
・役割分担を共有する
・進捗状況の伝え合い
・声の掛け合い
　～常に動いている現場だからこそ～

●子どもも職員間も、“感情労働”
　～感情を大切に

●「動ける」とは…？
保育の現場は、常に動いている！

【連携コミュニケーションのコツとは？】

＜ワークからの気付き・心がけたいこと＞

６．本日のまとめ・振り返り

＊印象に残ったこと・小さな一歩＊

おつかれさまでした！

現場での活躍、心より応援しております。